

【1】区の将来像

豊かな自然環境や観光資源に恵まれた、  
人と人が温かくふれあうまち

【2】区の担う役割

- ◎最も広大な農地を有する区として、安心・安全でおいしい食材を生産する総合食料基地である本市の一翼を担います。
- ◎豊かな自然環境や観光資源を活かし、観光・レクリエーション機能のほか、都市と農村の交流拠点としての機能を担います。

【3】目指す区の姿

- I 多様な農水産物を供給するまち
- II 観光とレクリエーションのまち
- III 人が行き交う活力あるまち
- IV 人と人が温かくふれあうまち

No.	目 標	これまでの取り組みの検証結果（成果・課題）
①	魅力ある農業の振興	<p>【取り組み・成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各種農業イベントや武蔵野美術大学との商品開発交流などを通じて地場農産物をPRすることで、生産者と消費者の交流が深まり、直売所経営や収穫体験・加工品開発など6次産業化へ向けたきっかけになっている。</li> <li>・中之口農業体験公園の整備により、区外からも農業体験や収穫祭等のイベントに参加する人が増えており、地域活性化につながっている。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生産者の高齢化が進んでおり、次世代の担い手の育成が急務である。</li> <li>・低コスト経営に向けた農地の合理的集約、複合経営、6次産業化への取り組みが必要。</li> </ul>
②	地場産業の振興	<p>【取り組み・成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域商店街の活性化のため、H23年に巻地区商店街を西蒲区の拠点商業地として選定し、にぎわい創出・空き店舗対策等に取り組み、商店街の活性化が図られた。</li> <li>・森林保全活動推進のため、福井自治会と連携し、福井地区諏訪山の森林整備を行っている。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一時的な活性化ではなく、継続的な活性化につながるような事業展開が必要。</li> <li>・森林保全活動に参加できるメンバーが減少してきており、新規参加可能メンバーの確保と、悪天候時の活動方法の検討が必要。</li> </ul>
③	観光拠点づくり	<p>【取り組み・成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・岩室温泉に観光複合施設「いわむろや」を整備し、入館者が当初の目標を大きく上回るなど、順調に滑り出した。</li> <li>・武蔵野美術大学と連携した「わらアートまつり」や「アートサイト岩室温泉」などの開催により、区内外から観賞者や観光客が訪れ、交流人口の増大につながった。</li> <li>・平成25年度に巻地域・岩室地域が一体となって「西蒲区北国街道まち歩きガイド」を組織し、来年度以降、街道を巡るまち歩きの多様なニーズに応えられるよう組織強化を図る体制づくりができた。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・岩室温泉は、「いわむろや」の入館者増が温泉街のホテル・旅館の宿泊客数に直結していないことから、宿泊施設と「いわむろや」が連携した魅力ある商品開発と行政も一体となったPRにより宿泊を伴う観光客を呼び込むことが必要。</li> <li>・「西蒲区北国街道まち歩きガイド」のメンバーの増員と多様なコースづくりが必要。</li> </ul>
④	交通の利便性の向上	<p>【取り組み・成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・巻潟東インター周辺の整備（駐車場、バス待合施設、にぎわい広場）により、市中心部と結ぶ結節点の強化が図られた。</li> <li>・西蒲区と西区の自治協議会の働きかけで、コミ協などを中心に署名活動を行い約4万人の署名を集め、JRに対して越後線増便の要望を行った結果、平成24年3月から3年間の予定で増便の社会実験が始まった。</li> <li>・平成23年度に実施した「西蒲区の公共交通のあり方検討会」による検討結果に基づき、区民向けの総合交通ガイドマップを作成するとともに、交通空白地解消に向けて、バスの社会実験を行った。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パークアンドライドの一層の推進と賑わい広場の活用が課題となっている。</li> <li>・JR、バスの社会実験ともに利用者が伸びず、本格運行につなげるには難しい状況となっている。</li> </ul>
⑤	スポーツが楽しめる環境づくり	<p>【取り組み・成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・西川総合体育館、城山運動公園、(仮称)サルビアパークなどの体育施設の整備により、スポーツ（競技）人口の拡大、技術向上が図られた。</li> <li>・各種スポーツ大会や教室、育成強化事業の開催や支援により、スポーツ（競技）人口の拡大、ジュニア層の育成が図られた。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各施設ともに、利用者ニーズに応じた管理・運営を行っていく必要がある。</li> <li>・大会や教室を実施する種目の拡大と、支援種目の拡大のため、継続的な実施が必要である。</li> </ul>